



文協おおぶ

~県民茶会 ちからを示す大府文協~

【発行】大府市文化協会 大府市中央町五丁目70 大府市役所生涯学習課内 TEL(0562)46-3331



来客で賑わうロビー

人の世は一期一会
大府市文化協会が昭和五十二年に発足して以来、二十七年が経過いたしました。現在では千四百余名の会員がより高く、より多様な文化活動を推進しています。これは、役員と会員の皆様のチームワークと努力のおかげです。厚くお礼申し上げます。
さて、昨年の十一月三十日に勤労文化会館で盛大に県民茶会が開催されました。昭和四十六年に第一回が開催されて以来、大府市では初めての茶会となりました。茶会では「花見より、帰りの人に茶の湯せば、鳥の絵をも花もおくまじ：利休百首より」の気くばりで開かれました。会場で、茶道愛好者が茶席で静かに対座しているその姿は、何とも言えない茶の湯の美しさを感じられました。「茶の湯とは、心に伝え、目に伝え、耳に伝え、一筆なし：宗旦」まさにそんな雰囲気でした。席主の皆さんのが「この時は一生に一度の出会いである。この会が終つたら二度と会えない」という心掛けがあつたからだと思います。

今回の茶会では、好天に恵まれ七茶席五千四百五十三席（約三千人）というすばらしい茶会となりました。これも文化協会の役員、茶道部、席主の皆さんのおかげだと思います。厚くお礼申し上げます。

大府市文化協会が昭和五十二年に発足して以来、二十七年が経過いたしました。現在では千四百余名の会員がより高く、より多様な文化活動を推進しています。これは、役員と会員の皆様のチームワークと努力のおかげです。厚くお礼申し上げます。
さて、昨年の十一月三十日に勤労文化会館で盛大に県民茶会が開催されました。昭和四十六年に第一回が開催されて以来、大府市では初めての茶会となりました。茶会では「花見より、帰りの人に茶の湯せば、鳥の絵をも花もおくまじ：利休百首より」の気くばりで開かれました。会場で、茶道愛好者が茶席で静かに対座しているその姿は、何とも言えない茶の湯の美しさを感じられました。「茶の湯とは、心に伝え、目に伝え、耳に伝え、一筆なし：宗旦」まさにそんな雰囲気でした。席主の皆さんのが「この時は一生に一度の出会いである。この会が終つたら二度と会えない」という心掛けがあつたからだと思います。

今回の茶会では、好天に恵まれ七茶席五千四百五十三席（約三千人）というすばらしい茶会となりました。これも文化協会の役員、茶道部、席主の皆さんのおかげだと思います。厚くお礼申し上げます。



大府市教育委員会
教育長 浅田 勇

人の世は一期一会

◆大府市敬老会に出演

九月十二日(金)平成十五年度大府市の敬老会が市民体育館において、盛大に開催されました。

大府市も高齢化が進み、現在七十歳以上が約七千人強という事ですが皆さん、とてもお元気そうでした。

今年は文化協会芸能部（八団体の詩吟、詩舞、舞踊）、大府ばやし保存会の約百二十名がアトラクションに出演し、大きな拍手を戴きました。

河内音頭で始まり最後は、会場から多くの人に参加して戴き出演者全員で大府音頭、大府ばやしを楽しく踊りました。

役員及び参加者全員のご協力、ありがとうございました。

(云能祭実行委員長 谷口尚眞)



★第二十八回愛知県文連美術展が、

十月十五日(水)～十九日(日)まで愛知県芸文センターにおいて開催されました。

洋画部門入選者

成田 武文

(油絵)

太田 美由伎

(木版画)



◆市民と共に楽しみました

第三十四回大府市産業文化まつりが、大府市民体育館において十月二十五日(土)、二十六日(日)の両日にわたり開催されました。

短歌、川柳、絵画、書、写真、盆栽、菊花、生け花、草木染、レザークラフト、木目込み人形、絵手紙等の展示と、ステージでの市民吹奏楽団の演奏、ハムクラブの全国交信など、幅広い文協の活躍ぶりが遺憾なく発揮され、多くの市民と共に楽しい二日間を過ごすことができました。皆さん方には、即に来年に向けた活動が始まっていることと想います

が、日々の精進を重ねたいものです。関係各位のご支援、ご協力に感謝します。ありがとうございました。

(産業文化まつり実行委員長 百合草忠男)



◆ポートフィリップ市と国際交流

姉妹都市提携十周年記念式典に私は、市民団として十一月十一日(火)から十六日(日)までオーストラリア・ポートフィリップ市を訪れ、式典での記念演奏を行いました。会場の雰囲気は、海外ならではの客席との一体感の中で楽しく演奏でき、貴重な体験となりました。また、ワイルドライフパークでカンガルーに手渡しで餌をやつたり、フィリップ島のサマーランドビーチでリトル・ベンギンの可愛いパレードを観たり、メルボルンでは、トラム（路面電車）に乗つたりショッピングと町中の散策をして、異文化を肌で感じることができ、あつという間の六日間でした。

(大府市民吹奏楽団 巴山喜博)





平成15年

愛知県民茶会 特 集

◆ 茶会の更なる繁栄を
「侘茶」の真髓は
簡素静寂の境地を重ん
ずる」と申します。平
成十五年度の県民茶会（尾張部）は、
去る十一月三十日に大府市勤労文化
会館に於いて開かれました。当日は
大府、豊明、春日井、常滑、半田、
東浦、東海の七市町の関係の方々が
席主を務めてくださいまして、盛会
のうちに茶会を終えることができま
した。会場を提供してくださいま
した大府市の茶会関係の皆様には、多
くのご苦労をおかけしたことと存じ
ます。ありがとうございました。

今日、万人に開放されている高い
文化的な生活であります県民茶会の更
なる繁栄を願つてやみません。

(県文連副会長 佐野美恵)

◆ お礼のことば
好天に恵まれて愛知県民茶会は、
大盛況のうちに無事終了いたしました。
ひとえに茶華道連盟をはじめ文
協会員皆様のご協力の賜と深く感謝
申し上げます。

昭和四十六年に豊橋市から始まつ
た県民茶会事業は、毎年あちこちの
市町をリレーし受け継がれておりま
す。大府市文化協会は、今回初めて
お引き受けし、一大事業として「一
期一会」「誠心誠意」をモットーに
一年がかりで積み上げてきた結果、
見事に努力の成果が花開きました。

動員面においても、勧文に設えた
七会場を五千四百五十三席という記
録的な数で、お客様に茶会を堪能し
ていただきました。そのため待ち時
間が長かつたり、窮屈な思いもさせ
た事だらうと思いますが、その後の
他茶会で大府の茶会が話題になり、
「会場、席のしつらえ、人の対応と
もバランスよく大変良かつた」と評
判だつたそうです。何より、多くの
市民の皆さんに茶の湯の心をお届けで
きましたことを嬉しく存じます。

大・小規模によらず、文協会員が
それぞれ得意な分野を生かし、力を
寄せ合いひとつにまとまれば大きな
力となつて發揮できることを確信い
たしました。

この事業に対しても格別のご支援ご
協力を賜りました大府市、大府市教
育委員会および市民の皆様に厚くお
礼申し上げます。

礼申し上げます。
(愛知県民茶会運営委員長
深谷良二)

◆ 県民茶会を終えて
深谷良二

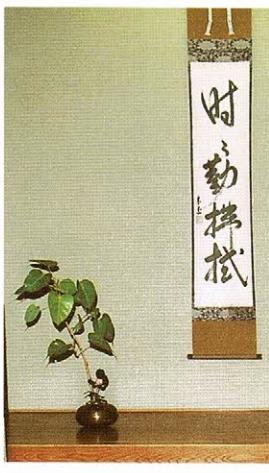
前日の雨で松葉が美しい中庭での
開会式でした。雨の予報だった県民
茶会十一月三十日は、奇跡が起きま
した。天気は晴、テープカットの後、
席主様心入れの七つの茶席は人であ
ふれました。来席者三千人、よく無
事で終えたと今、心が震えます。

思えば、県民茶会が大府でと決ま
った時から、何度も会合を重ねた事で
しよう。茶華道部員は、一つになり
ました。忙しい中を、暑い日も寒い
日も全員集まり、打ち合わせを重ね
ました。そうして文協の皆様と合同
のすばらしいチームの結束が、茶会
を無事に終える力となつたと、感謝
の心で一杯でございます。昨今、あ
ちこちの茶の集まりで大府の県民茶
会の話をよく聞きます。「とてもよ
かった」「親切な御案内をしていただ
いた」等等嬉しい事でございます。
ありがとうございました。

何よりも嬉しいことは、この行事
を通して、多数の皆様方のご協力を
戴き、会員の団結力・組織力の強さ
を再確認できたことです。これを機
会に、他の市町の文協の方々との連
携強化が図られればと思います。

未筆になりましたが、全面的にご
支援とご協力を戴きました教育委員
会、特に生涯学習課の皆様方に深く
感謝申し上げます。

◆ 県民茶会を終えて
(運営副委員長 森 誠二)



(運営副委員長 志道礼子)

(運営副委員長 森 誠二)



▲深谷運営委員長



▲開会式・岩田県文連会長挨拶



▲席主・役員の方々



▲福島市長



▲テープカット

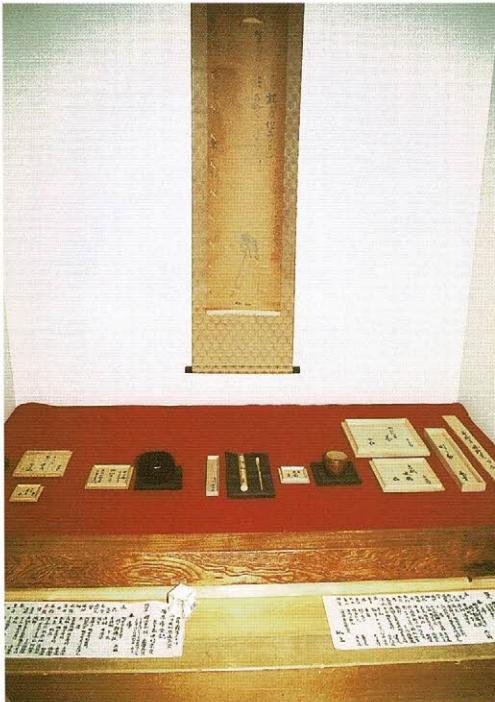


▲準備風景



▲迎え花

大府席



◆大府席を担当して

席主という大役を頂いてからの毎日は、まるで重荷を背負って山道を行くが如き心境でした。まずはテーマです。季節は晩秋、初冬、しかしこれらは他席の亭主様も考えられることは?とその時「茶禅一味」の言葉が脳裏をよぎり、丁度十二月八日は釋尊が悟られた成道会、出家者の私はこれしかない!こう気付かせて頂けた時点で気持が楽になりました。道具組も禅味と茶味を交えながら何とか完成、お菓子は季節の花五種類を三軒の店に依頼し、散華の形式をとる大冒険をしましたが幸いにも好評で安堵しました。最後に地元席の亭主という大役の御縁を頂けましたこと、さらに陰に陽にお力添え下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。

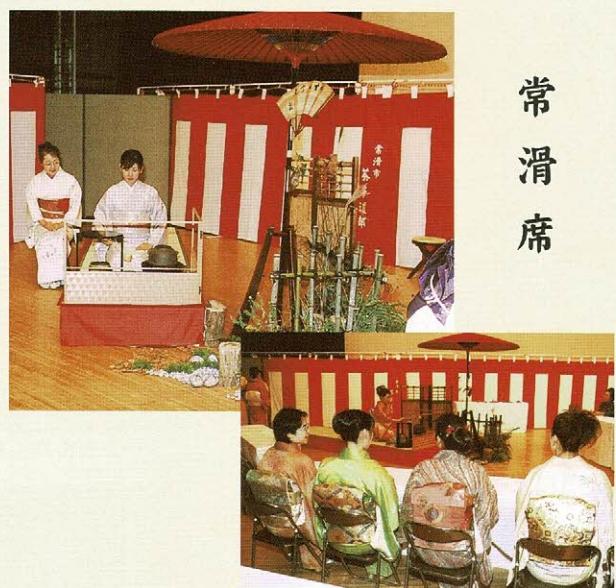
(大府席主 中村道宣)



半田席



常滑席



春日井席



東浦席



東海席



豊明席



(7) 平成16年2月25日

◆県文連芸能大会

平成十五年度愛知県文化協会連合会の芸能大会が東浦町文化協会主催で、十一月二十三日(日)大府市勤労文化会館もちのきホールにて開催されました。大府市文化協会の代表として大府混声合唱団「赤とんぼ」と大府三曲会が参加し、多数の方々の応援を戴き、光栄に思っています。

私達の芸は、常にお座敷芸として小さな世界で自己満足に終ってしまいます。ですが、この様な大きな舞台で発表出来る機会を与えて戴く事により、大きく向上します。しかし近年、糸方はそうでもないのですが、特に尺八芸は入口が狭く老齢化が進んでいます。若い人の入会を常に望み、この楽しさを多くの人に知つて戴きたいと思います。

(大府三曲会会長 近藤富男)



◆大府市合唱祭に参加して

十二月六日(土)大府市勤労文化会館もちのきホールにて、第三十二回大府市合唱祭が開催されました。今年は十二団体が出場し、文協から女声コーラス萌木、女声コーラスなしの木、大府混声合唱団「赤とんぼ」、女声合唱団アマリリスが参加しました。

明石哲司実行委員長の挨拶に始まり、講評者の倉知竜也先生の指揮により「大きな古時計」を全員合唱し、開催の幕が切られました。各団体の個性も充分に發揮され、神田小学校、大府小学校、愛知ムジカ少年少女合唱団の子供達の熱演もあり、大いに盛り上がりました。皆さんマナーも良く、熱心に歌声に聴き入る姿が見られました。楽しい一日となり、関係者の方々に感謝いたします。

(女声合唱団アマリリス 畑 和子)



◆新年懇親会

一月十八日(日)恒例の新年懇親会がみかどにて開催されました。

福島市長、花井議長、深谷県会議員を始め教育委員会関係の皆様をお招きし、総勢九十七名がなごやかに集いました。

深谷会長より愛知県民茶会で行政にお世話になったお礼や、会員の協力があつて成功裡に終つたことが述べられました。また来賓の方々より文協に寄せる期待のお声を頂戴し宴会に移りました。

のど自慢のカラオケなどあり、締め括りは全員で「大府ばやし」を踊り、「今年も元気で活動しましょう」と一本締めでまとまりました。

(事務局)

次回も引き続き新しい企画を、計画しています。是非、多くの皆様の参加をお待ちしております。

(大府市社交ダンスクラブ 森 忠義)

◆第二十一回文協音楽祭

去る、一月二十五日(日)に大府市勤労文化会館もちのきホールにて、第二十一回文協音楽祭が「音楽で綴る世界の旅Ⅱ」と題し開催された。

今回は、大府演劇集団の皆さんが出で案内役として活躍して頂き、世界の旅を楽しもうという企画、ゲスト演奏の女声コーラス「萌木」の指揮者鳴海卓先生の独唱や、マリンバ奏者の平手直美さんと「赤とんぼ」ピアニスト放生會華子さんによる、マリンバとピアノの二重奏は感動ものでした。もちろん文協の団体どれを採用してもレベルアップされ、すばらしい演奏でした。最後に小堂ひとみ先生の指揮による「故郷」の全員合唱で幕を閉じた。

(音楽祭実行委員長 花井博之)

第三回大府市文化協会主催の社交ダンスパーティーが、一月二十五日(日)午後六時~九時まで、勤労文化会館くちなしホールで開催されました。市内及びその近郊で活躍しているダンス爱好者及び家族連れの参加がありました。

今回は、初めての試みとしてチャリティーダンスパーティーを催しましたが、多くの暖かいご協力を得ることができ、心よりお礼申し上げます。予てより我々が切望していた社交ダンスを通しての市民とのふれあいを感じました。



◆大府市生涯学習課共催文協教室

十五年度文協教室は、「文楽へ行こう」というタイトルで、市芸術祭の文楽公演に標準を合わせた講座です。去る一月三十一日(日)市役所多目的ホールにて開催され、出席二百十八名(内子供十二名)で大反響でした。

講師は、南山大学教授安田文吉先生。実演は、知立山車文楽保存会の山町人形連、義太夫会。色々なプロセスを経て、生涯学習課のお骨折りにより実現しました。

先生の巧妙な話術で、文楽の歴史、文楽は三業一体(人形遣い、太夫、三味線)、人形操作は三人(主遣い、左遣い、足遣い)と学習・実演との兼ね合いで、大納得しました。

(企画委員長 西山典子)



◆早春告げる大府盆梅展

馥郁と春の香りが漂う大府盆梅展が二月九日(月)~十五日(日)の七日間大倉公園にて開催された。

中部地区では屈指に位置づけられた大府盆梅展は、毎年来場者が増え今年も一万人を大きく上回る方々に早春を楽しんでいただいた。

この事業の共催として大府市文化協会加盟団体の大府市盆栽会・府柳クラブ・ことね会・大府市茶華道連盟、これに加えて日本盆栽協会東知多支部、商店組合、等々献身的な努力が好評を広めている。

今後も大府市観光の目玉事業として、多くの方に心の潤いを求めて戴きたいと願っています。

(大府盆栽会 小澤数雄)

★第十一回文協歌謡祭

・日時 三月二十一日(日)

・開演 九時三十分

・会場 大府市勤労文化会館

・内容 もちのきホール

・ゲスト 「谷本 知美」

・出演 大府市文化協会歌謡部門

・内容 カラオケ・生オケ

・入場無料

・北海育ち・女の王将他

・主催 大府市文化協会
・主管 文協歌謡祭実行委員会
・後援 大府市教育委員会

◆新規加入団体「夢工房」紹介

はじめまして、2000年に発足した「夢工房」です。自分達でコンサートを企画し、一人一人の得意な力を発揮して舞台を創っていく、地元合唱団など演奏会のケータリングをするというコンセプトを持つて活動しています。

身近な地域でより多くの人達と、プロの生演奏を肌で感じたい。新しい出会いがあり、「素敵な音が聴けた」「楽しかった」とお声がかかるれば、またがんばろうとうもの。高齢化時代、余暇時間も増えました。平凡な日常生活にアクセントがあり、潤いがある、ほんのひと時でも安らぎの時間が持てるなら、豊かなことではありますか。「夢」を持ち「夢」を叶える私達です。

(代表 西山典子)

夢
since 2000~

● 第十三回菜々草の会作品展

六月二十四日(木)~二十九日(火)

● 第十四回草木染藍の会作品展

七月八日(木)~十三日(火)

● 第二十五回定期演奏会

九月二十六日(日)

二時開演

(勤労文化会館もちのきホール)

● 第二十四回草木染藍の会作品展

七月八日(木)

二時開演

(勤労文化会館展示室)

● 第二十二回定期演奏会

九月二十六日(日)

二時開演

(勤労文化会館もちのきホール)

● 第二回定期演奏会

九月二十六日(日)

二時開演

(勤労文化会館展示室)

● 文協会員研修会 七月十一日(日)
場所未定

● 各団体事業

・大府市楽友協会管弦樂團

第二十回記念定期演奏会

五月十六日(日)二時開演

(勤労文化会館もちのきホール)

● 入場料 八百円

◎文協主催事業	
平成十六年度前半行事予定	
・文協総会 四月二十五日(日)	
・市役所 多目的ホール	
・文協まつり文化展	
六月十九日(土)~六月二十日(日)	
勤労文化会館	
・大府市盆栽会	
六月二十日(日)	
勤労文化会館もちのきホール	

編集後記

今回は県民茶会特集号として、多くの方に原稿をお願いし、ページ数も増して、写真クラブのご協力により多くの写真をカラーで掲載できました。編集委員一同